

2024 年度 第 2 回放送番組審議会 議事録

会議名	2024 年度 第 2 回放送番組審議会	場所	株式会社 CAC
日時	2024 年 11 月 6 日（水）13：30～15：00		
参加者	〈審議委員〉 出席：小野田靖・内田敦士（半田市）・阿知和得治（阿久比町）・岡田ゆう子・前川和輝・鈴木雅貴・竹内麻美・都築佳世／欠席：河合孝俊・祖式瑛斗（敬称略・順不同）		
	〈CAC〉 出席：石川欣也・栗田美佳（書記）／冒頭のみ出席：森内保雅		

一次第一

1. CAC より挨拶
2. 委員長挨拶
3. 事前視聴番組について（知多から巡る優イチオシ／CAC かわら“番”）
4. 当日視聴番組について（てれびでほいくさんかん／CAC かわら“番”）
5. 退任のご挨拶
6. その他

3. 事前視聴番組について

知多から巡る優イチオシ（10 月放送分）

〈半田市〉 全体的に楽しく見させてもらった。河和駅からスタートしたのは疑問に感じた。出演者が内海高校出身ということであれば、高校や内海駅が自然なのでは？

砂時計体験については、いつ頃から始まったのか深く掘り下げて紹介してもらえると尚よかった。タイトルにもあるように、巡りたくなるような、疑似体験させるような番組にしてほしい。放送した体験の情報などは、最後にまとめて紹介するとよいのでは。サンドアートはいつ行ったら見られるのか、事前に電話をすればやってもらえるのか、などの情報もあるとよかった。

〈阿久比町〉 地元住民も知らない情報を紹介してもらえたのがよかった。砂時計が体験できることは知らなかったし、新しい観光事業として取り組まれていることを知れて良かった。天野さんのことは知らなかったもので、冒頭で天野さんの紹介があるとよかった。冒頭のやり取りは、内輪ネタ感が強くて飽きられそうな印象を受けた。サンドアートの完成後、テラスから撮影していたがドローンなどで撮影されていると、より映えたのでは。

〈岡田〉 番組全体の雰囲気が楽しげな印象を受けた。内海の魅力が伝わってきた。バスの本数が少ないなどといった、地元の人も共感できる話題に触れていて、身近に感じられた。砂時計の体験については、テロップで情報が掲載していたが、電話番号などの詳細があったら尚よい。天野さんを知らなかったもので、紹介があるとよかった。場所によって砂に違いがあることを知らなかったので興味深く感じた。全体的に自然体なトークの展開で、この番組を初めて視聴したが、また見てみたいと感じた。

- 〈前川〉 河和駅からスタートしていたが、電車の紹介などがあってもよかった。砂時計づくりは、最初に完成サンプルを見せた方が分かりやすいのでは。唐突に写真撮影が始まった印象を受けた。サンドアートの説明は丁寧で、自分もやってみたいという気になった。全体的に丁寧に作られている印象を受けた。食べ物だけでなく、こういった施設の取り上げるのもいい。
- 〈竹内〉 天野さんの紹介はあった方がよいのでは。二人のやりとりが内輪での盛り上がりを感じる。砂時計体験の予約方法や金額などは、もう少し詳しく紹介してほしい。サンドアートの紹介のシーンがかわいらしかった。
- 〈都築〉 おそろいの衣装は印象的で、番組のPRになると思う。背景にも目がいったのだが、空とのコントラストが美しい一方で、立ち止まる際に倉庫の前やガソリンスタンドの前だったときもあったのがもったいない。基本的にテロップで補足されているので分かりやすい。砂浜で時計を置いているショットがよかった。ボケに対し、ツッコミを文字で入れても面白いのでは。サンドアートでは、インタビュー時の海が綺麗。視聴者プレゼントのお肉が美味しそうで印象に残った。
- 〈小野田〉 番組スタートが社屋前なのは残念。内海からスタートする方が自然では。背景も気にしてほしい。逆光のケアが丁寧にされているとよいのでは。バスの話題においては、出身高校をテロップで紹介されているほうが自然な流れになると思う。引いたショットが多いが、もっと寄ったカメラワークがあっても良かったのでは。別のカメラが映りこんでいることもあったので、そのあたりは配慮してほしい。
- 〈祖式〉 砂時計工房の代表が説明をしている際はカメラを固定したほうがいいのでは。途中カメラの視点が変わってしまったので話をしている人に固定しておくほうが良いと感じた。アートと内海というテーマは楽しく見る事ができた。出演者たちの掛け合いも心地よい。
- 〈CAC 石川〉 自社で制作している番組もあるが、こちらは東京の制作会社に依頼して作っている番組。土地勘がないため、地理的な視点はCAC側のディレクションが欠かせない。もう少しコントロールする必要があると感じている。

CAC かわら“番” 10月28日（月）放送分 アナウンサー：山下星奈

- ☐ニッ坂カーニバル 【半田図書館前通り商店街】
- ☐阿久比町文化祭芸能大会 【アグピアホール】
- ☐青山中学校合唱コンクール 【青山中学校】
- ☐消防ふれあいまつり 【さくら小学校ほか】
- ☐加入者プレゼントのお知らせ

ニッ坂カーニバル

- 〈半田市〉 会場の近くに住んでいるため、興味深く視聴した。ナレーションで「商店街に親しみを持ってもらおうと企画された」と言っていたが、キッチンカーなどの撮影が多く、商店街への親しみは感じられない映像であった。
- 〈阿久比町〉 会場の紹介が少し長すぎるように感じた。

- 〈前川〉 うどんを盛り付けている際に落ちてしまったシーンが入っていたのが残念に思った。“商店街に親しみを持ってもらうためのイベント”というよりは、“特別なイベント”を実施したという印象を受けた。
- 〈竹内〉 うどんが落ちてしまったシーンが入っていたのが残念。子供たちが楽しそうにイベントに参加している様子は伝わってきた。子どもへのインタビューがあってもよかったのでは。チアダンスの発表では、ステージの半分だけがアップになっている時間が長かったので、保護者には不公平に感じられるかもしれない。
- 〈都築〉 このイベントに参加したことがあるのだが、映像から賑わいが伝わってきた。「イベントのための特別メニューがある」と紹介されていて沖縄そばが取り上げられていたが、他にもどのようなメニューがあったのか、幅広く取り上げられるとよかった。ステージ発表では、TEAM HIMAWARI やブラスバンドが長く映っていたが、他にも出演団体がいたのでは？なるべく多くの団体を紹介できると加入促進にもつながるのではないかな。
- 〈小野田〉 うどんが落下するシーンは残念に感じた。出演団体と商店街との関わりをもう少し深く掘り下げて紹介されているとよい。インタビューは寄りすぎていると感じた。
- 〈祖式〉 インタビュー時のカメラの揺れが気になった。カメラマンがインタビュアーを兼任していると思われるが、相槌でカメラが揺れてしまうのは視聴者にとって見づらいため、固定すべきだと思う。

□阿久比町文化祭芸能大会

- 〈半田市〉 あまり興味を持たず、退屈に感じられた。
- 〈阿久比町〉 自分事ながら、画ヅラが渋いと感じた。団体の紹介コメントやPR など、テロップで補足されていると見やすいのでは。
- 〈岡田〉 これまではこういった話題は渋いと感じていたが、ウクレレを初めて、自分が出演する側の立場になった。見る立場によって感想が変わると感じた。これから習い事を始められる方にとって参考になると思う。
- 〈前川〉 参加された方々の紹介としては良いのだが、同じサイズの画が続いてしまうのが残念に感じられる。もう少し寄ったり引いたりといった映像が入っているとよい。
- 〈竹内〉 このニュースのひとつ前の話題が楽しい雰囲気のものだったため、余計にこの話題が渋く感じられるのかもしれない。この話題としては、バランスよく紹介されていたように思う。イベントの活動日などがテロップで紹介されていると良いのでは。
- 〈都築〉 子供が出演していた。ニュースで取り上げていたのが、比較的年齢層が高めの団体だったように感じる。もう少しまんべんなく紹介できるとよい。
- 〈小野田〉 フラダンスのシーンは少し寄りすぎいていたので、もう少し引いたカメラワークでもよかったのでは。演目によってカメラワークが異なっていたのはよかった。

□青山中学校合唱コンクール

- 〈半田市〉 生徒のコメントがテロップで表記されていたのがよかった。
- 〈阿久比町〉 生徒のコメントがテロップで表記されていたのがよかった。
- 〈岡田〉 生徒のコメントがテロップで表記されていたのがよかった。
- 〈前川〉 生徒のコメントがテロップで表記されていたのがよかった。中学校の時の記憶が蘇り、懐かしい気持ちで視聴した。
- 〈竹内〉 インタビューだと、すぐに答えられない可能性もあるので、生徒のコメントを事前に聞いてテロップで紹介できていたのは非常に良かったと思う。
- 〈都築〉 生徒のコメントがテロップで表記されていたのがよかった。
- 〈小野田〉 映像は出演順かと思うが、すべての組が紹介されているのであれば、テロップ等で補足されていると分かりやすかったのではないかな。
- 〈CAC 石川〉 普段テロップでコメントを紹介することはあまり実施していない。今回の取り組みが好評であったことは制作スタッフにフィードバックしたい。

□消防ふれあいまつり

- 〈半田市〉 全体的には良かったが、パンを配布するシーンからスタートしていることが疑問。もっとイベントの趣旨が伝わるシーンからスタートした方がよい。
- 〈阿久比町〉 消防をテーマにしているのであれば、それを意識させる映像が必要だと思う。お子さんが消防車に乗っているシーンはよかった。
- 〈前川〉 参加されている子どもたちが楽しそうにしているのが伝わってきた。
- 〈竹内〉 一緒に番組を視聴していた子供にも、イベントの楽しそうな雰囲気が伝わっていた。
- 〈都築〉 イベントの魅力が伝わってきた。行ってみたいと思った。

□その他

- 〈前川〉 アナウンサーのお辞儀が早すぎるように感じられた。
- 〈鈴木〉 手足口病が大流行しているなど、時事ネタを取り上げるとより興味を持ってもらえるようになるのでは。イベントの紹介も良いのだが、風変わりしない。役に立ちそうな情報があるとよい。
- 〈都築〉 スタジオが明るくなったように感じる。

CAC かわら“番” 10月29日（火）放送分 アナウンサー：齋藤美紗子

□亀崎中学校体育祭	【亀崎中学校】
□つづき農場稲刈りイベント	【つづき農場】
□植地区文化祭	【植区民館】
□写真展 知多のチョウ 2024	【半田赤レンガ建物】
□fit@home 公開収録	【オアシスセンター】

□亀崎中学校体育祭

〈阿久比町〉真剣な表情が伝わってきた。

〈岡田〉 全体が撮影されており、本人たちも後で見返せると思うのでよかった。

〈前川〉 みんなの頑張りが伝わってきた。

〈鈴木〉 参加者の様子が伝わりやすい。大人の立場からすると、校長先生やPTAの挨拶なども見てみたいと感じた。

〈竹内〉 バランスがよく見やすかった。応援団のシーンがよかった。

〈都築〉 綱引きのアングルは迫力が伝わってきた。応援団は視聴者が見たかったところだと思うので、しっかり撮影されていてよかった。

〈小野田〉 ローアングルがあると、より迫力が伝わりやすいのではないかな。

□つづき農場稲刈りイベント

〈阿久比町〉 イベント内で色々な催しがあったが、よくまとまって紹介されていたと思う。自然に触れ合う機会が減っている中で、イベントの魅力が伝わってきた。参加された方のコメントが非常によかった。

〈岡田〉 ナレーションで「知多半島内外から参加」と紹介されており、この一文によって、このエリア以外からも参加者がきているということが伝わってきてよかった。

〈前川〉 稲刈りイベントというタイトルだったため、冒頭のクイズをやっているシーンがすでに稲が刈り取られているシーンだったのが違和感を覚えた。稲穂の映像があった方がよかったのではないかな。泥団子を板にぶつける催しは、映像でみると少しきつい印象を受けた。

〈鈴木〉 主催者へのインタビューもあるとよかった。

〈竹内〉 イベント全体が楽しそうに感じられた。来年あったら参加したいと思える映像であった。

〈都築〉 私が企画したイベントであり、取材してもらえたのはありがたく、イベントの目玉をうまくまとめてくださったと思う。稲刈り中のインタビューで参加者の声が紹介されていたが、大人の参加者にもインタビューしていて、イベントの魅力を伝えてもらえて嬉しく思う。

〈小野田〉 貴重な体験であり、取り上げる意味があると思う。収穫した穂をかけるシーンがあったが、こういった意味がある作業なのかも紹介されていると尚よいのではないかな。

□植地区文化祭

- 〈阿久比町〉 身近な方が映っているというのがコミュニティチャンネルの強みだと思う。
- 〈岡田〉 アナウンサーが取材時の感想も紹介していて、生の声を感じられてよかった。
- 〈前川〉 展示や発表、太鼓などもあり、イベントの雰囲気は伝わったが、ナレーションとタイミングが合っていないように感じられる場面もあった。「会場に入りきらない」という表現があったが、人が集中している箇所とそうでない箇所があったため、違和感を覚えた。
- 〈鈴木〉 アナウンサーの個人的なコメント（感想など）があるのは良い。
- 〈竹内〉 参加者のインタビューもあるとよかった。
- 〈都築〉 大人から子供まで楽しむ様子が伝わってきた。盆踊りのシーンが特に印象的。アナウンサーのコメントがよかった。
- 〈小野田〉 映像が単調に感じられた。参加者の年齢が幅広く、来場者参加型のイベントであることが伝わってきた。

□写真展 知多のチョウ 2024

- 〈阿久比町〉 珍しいチョウについても紹介されており、撮影者のお話が伝わってきた。写真展の情報がテロップで出る際に、間が空いたのが気になった。
- 〈岡田〉 チョウの名前が聞き取れなかったが、テロップ補足があったのでわかった。
- 〈前川〉 1回目に見たとき、インタビューをした後の写真が長く感じられた。2回目に見返した際には、紹介順に意味があったのだと分かった。
- 〈竹内〉 珍しいチョウについてのコメントは、ご本人から聞けるとよかった。一つひとつしっかりと紹介されていたのは良かった。
- 〈都築〉 珍しいチョウの名前を聞き取れなかったが、テロップで紹介されていてわかりやすい。写真展の詳細情報も紹介されていた。
- 〈小野田〉 綺麗に撮影されていたと思う。

□fit@home 公開収録

- 〈阿久比町〉 行政イベントにご協力いただき、ありがたく思っている。参加者のコメントはテロップで補足されているとより伝わりやすいのでは。講師の背景が気になった。余分な情報がない方が見やすい。
- 〈前川〉 健康イベントの一環で開催されたとのことであれば、イベント全体の紹介も触れた方がよかったのでは。
- 〈鈴木〉 インタビューで自然なコメントを引き出すのは難しい。緊張しない聞き方を模索できると。

- 〈竹内〉 いつ放送されているのか紹介していたら番組を視聴したいと思った。最後の、参加者と先生との掛け合いが楽しそうな雰囲気を出していた。
- 〈都築〉 お年寄りのインタビューが印象的であった。子どもの映像も可愛らしかった。現在放送中の番組、と紹介されていたが、放送時間までであると尚よい。

□その他

- 〈半田市〉 全体的に 10 月 29 日放送分の方が見やすかったと感じた。視聴者の共感を得られやすいと思う。番組を見た方に「参加したい」と思ってもらうことが大切。事前応募なのか、該当地区の方しか参加できないのか、など参加方法を紹介してくれていると、来年の参加に繋がりのやすいのではないかな。
- 〈岡田〉 顔周りの髪の毛が気になった。声が明るく聞きやすい。
昔と見比べると、スタジオの照明は明るくなった。
これまでインタビューされるのは子供が多かったが、年齢層が広くなり、より伝わりやすくなったように感じる。
- 〈前川〉 スタジオが明るくなったが、その影響からかアナウンサーがまぶしそうで、テカリが気になった。
- 〈小野田〉 アナウンサーの髪が顔にかかっている、暗く感じた。声は聞き取りやすかった。

5. 当日視聴番組について

てれびでほいくさんかん

- 〈半田市〉 子供たちの可愛らしい姿を見ることができた。おじいちゃん・おばあちゃんと紹介されているが、園児の祖父母なのか、地域のお年寄りなのかが分からなかったもので、ナレーションなどでも紹介されていると良かったのでは。
- 〈阿久比町〉 おじいちゃん・おばあちゃんとの触れ合いがイベント趣旨ではあったものの、園児だけが映っているシーンが多いのが気になった。おじいちゃん・おばあちゃんとセットで映っていると尚良かったのではないかな。後半にはいって、セットの映像が多くなりよかった。
- 〈岡田〉 子供たちの表情が生き生きとしていたのが印象的。
- 〈前川〉 おじいちゃん・おばあちゃんとのイベントということだったが、前半はイメージが違うように感じられた。後半は良かったと思う。全体として安心して見ていられる番組。ナレーションと映像とのリンクをもう少し意識してほしい。
- 〈鈴木〉 このコーナーは毎週放送しているのか。取材が大変そうだと感じた。ほのぼのとした雰囲気の映像で、地域との繋がりを感じられた。
- CAC 栗田：毎週、エリア内の園を回って紹介している。

- 〈竹内〉 おじいちゃん・おばあちゃんとの触れ合いで楽しい雰囲気もありつつ、後半は歌やプレゼントなどで感動的なシーンも紹介されていてよかった。
ファミリーサポートとして、地域の子供たちの保育園送迎などを手伝い機会があるのだが、取材にいった保育園にこのコーナーのポスターが掲示してあり、保護者間で話題になっていた。
- 〈都築〉 子供の目線を大事にして撮影されていることが伝わってきた。おじいちゃん・おばあちゃんとの触れ合いが趣旨のイベントであれば、おじいちゃん・おばあちゃんの表情も紹介されていると尚よかった。子供が通っている保育園でも取材があり、ポスターが掲示されていて、同じく保護者間で話題になっていた。加入促進に繋がると思う。
- 〈小野田〉 このコーナーの趣旨は、保育参観なのかニュースなのか分かりづらかった。保育参観に重きを置くのであれば、子供たちにスポットをあてた場面が多い方が良いのでは。
- 〈CAC 石川〉 営業目線で始めたコーナー。園との調整の中で、イベント時に撮影させていただくこともあるのだが、なるべく園児たちの日常の姿を撮影し、ニュースとの差別化を図りたいと考えている。

CAC かわら“番”「ドラフト2位指名！モイセエフ・ニキータ選手」

- 〈半田市〉 民放も取り上げている話題においては、CACらしさをどこで出すかがポイントになってくるかと思うが、今回でいえばニキータ選手の友人である岩下さんへのインタビューにすべてをかけた感じがした。もう少し別の切り口もあるとよかった。
- 〈阿久比町〉 行政としてもアポイントを取りたいと思って動いている最中。ホットな話題をすぐに放送してもらえてありがたい。同級生のコメントはローカルの強みではあるが、岩下さんへのインタビューが長すぎるように感じる。地元らしさを出したいのか、ニキータ選手を紹介したいのか、目的が定まっているとよかったのではないかな。
- 〈岡田〉 冒頭の記者会見シーンは民放と同じだったので、後半の友人インタビューが長い方がよいと思う。ニキータ選手の友人の岩下さんのインタビューでは、間が長いのが気になった。岩下さんは知っている子だったので驚いた。
- 〈前川〉 前半は民放と同じだったため、長く感じた。地元ならではの声をもっと紹介してほしい。
- 〈鈴木〉 この選手が阿久比町出身と知らなかったので驚いた。映像の中に「●●を聞いてみました」とナレーションで紹介していたが、質問項目はテロップで補足してもよいのでは。タイムパフォーマンスが求められる時代でもあることから、簡素化しつつも内容を濃くできるとよい。
- 〈竹内〉 地元選手の活躍ということで注目度が高いのではないかなと思う。友人へのインタビューが入っているのは地元ならではの感じた。昔の写真が何点か紹介されていたが、どこにいるのか分かりづらかった。

- 〈都築〉 ニキータ選手が阿久比町出身ということは、もう少し早く紹介されていると良かったと思う。インタビュー以外にも様々なカットがあり、人柄が伝わってきた。
- 〈小野田〉 タイトル自体に“阿久比町出身”と入っていた方が伝わりやすいと思う。ニキータ選手の友人へのインタビューで肩書が紹介されていたが、現在の高校名を出すよりも、同じコミュニティ出身であることが分かるフレーズ（阿東パワーズ出身など）の方が良いのではないか。記者会見は CAC も参加したのか。
- 〈CAC 石川〉 ドラフト会議の日には豊川高校へ取材に行った。今回、ニキータ選手が過去に在籍していた東海ボーイズ・知多シニアにも声をかけていたがタイミングが合わず、今回は友人の岩下さんが答えてくれた。民放との差別化は少し進歩できたのではないかと感じている。

▽6、その他

■CAC からお知らせ

「熱血ラーメン伝」公開収録

11月22日（金）に番組初となる公開収録を実施しました。※終了しています
2025年1月・2月に放送を予定しています。



熱血ラーメン伝 NEKKETSU RAMENDEN

公開収録 観覧募集

MC: アンダーボイド

スペシャルゲスト
ビビる大木

日時 11月22日(金)
18時30分開場
19時収録開始
(所要時間 1時間程度)

場所 Farm@Clacity
(クラシティ 2F)
◆ 11月22日(金)～11月24日(日)
クラシティにて「全国カップラーメンフェス2」開催中!

申込 応募フォームに必要事項を入力してお送りください。
※応募多数の場合は抽選となります。
抽選結果は当選者へのご連絡をもって代えさせていただきます。
※応募者1名につき1回観覧いただけるのは1名までです。
※公開収録につき、裏番組・再放送・SNS等へ転載を場合があります。

入場無料・要申込 **応募締切: 11月8日(金)** ※スペシャルゲスト決定により延長! から応募フォームへアクセスできます。

わたしのストーリー～あなたのエピソードを映像化～



2025年2月放送に向けて、3作品を収録しています。

・「いつもの道で」

少年とおばあちゃんの心の交流を描く

・「結婚の街へ」

カネマタ衣裳店が手掛ける、彼岸花の花嫁行列のストーリー

・「彩り」〈俳優・近藤芳正さん出演〉

東部プレミアムキャンドルナイトの誕生秘話

この機会にぜひご覧ください。

番組 HP



次回開催：2025年5月予定